

# 淡路島定住自立圏

協定締結日：平成25年3月28日

協定締結日：平成30年10月3日（南あわじ市追加）

圏域市町	圏域人口（R2国調）
洲本市（中心市）、南あわじ市、淡路市 [3市]	127,340人
	圏域面積
	595.71km <sup>2</sup>

## 圏域の将来像

暮らしに必要な生活機能を確保し、より「活力・魅力ある淡路島」を実現する

## 主な取組

### 地域医療体制の充実

- ・圏域内の限られた医療資源を有効に活用し、地域医療体制の強化を図るため、圏域内の各医療機関相互の役割を明確にし、連携強化を促進する。
- ・特に小児救急医療について、輪番担当医院及び洲本市応急診療所並びに兵庫県立淡路医療センターとの役割分担と連携の確立に努める。

### 淡路島観光推進事業

- ・淡路島ブランドで売り出すことを前提に、淡路島観光協会を通じて、1市域ではなく、複数市が連携した取組みを行うことで競争力を高めるとともに、「淡路島」の知名度及び認知度を高めることにより、観光客の来訪及び滞在の促進を図る。
- ・平成28年4月に、3市で申請したストーリーが「日本遺産」に認定されたことで、複数市と関係団体で組織する「淡路島日本遺産委員会」の取組みを支援し、地域の伝統・文化を国内外に発信し、地域の活性化・観光振興を図る。



## 基本理念

安心・便利な環境づくり  
田舎暮らしの推進、人口減少・少子高齢化への対応  
地域の活力増進、歴史・文化などの継承  
自立・協働の促進

### 市域を越えたバスネットワークの構築

- ・統一的な推進体制を構築する
- ・ICカードにより、高速バスの利便性を向上する
- ・高速バスの地域内乗降を調査・検討し、社会実験を実施する
- ・結節点としての広域拠点機能を充実する
- ・地域内バスネットワークを再編する
- ・自主運行バスにより、きめ細かいサービスを実現する
- ・乗り換えの利便性を高める
- ・シームレスな利用環境を整える
- ・観光地へバス等で移動できるようにする
- ・特定観光施設へのバス路線のシンボル化に取り組む
- ・地域内バスネットワークを補完する端末交通を充実・強化する
- ・バス等公共交通の利用気運を高める

### 都市など他の地域の住民との交流促進、移住・定住の取組

- ・淡路島くにうみ協会に対する支援
- ・空き家バンクの共同利用に向けたシステムの運用
- ・あわじ田舎暮らし総合相談窓口との連携
- ・淡路島フィルムオフィス事業等への支援